

[100]九大法学表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/16938>

出版情報：九大法学. 100, 2010-02-26. 九大法学会
バージョン：
権利関係：

九大法学研究会（研究会開催順、敬称略）

二〇〇九年度第一回 二〇〇九年六月二十九日～七月一日

旧刑法における共犯規定と共謀による正犯

報告者 福永俊輔（九州大学大学院法学研究院助教）

宇都宮事件考

——とりわけその供述証拠についての一考察——

報告者 永住幸輝（九州大学大学院法学府博士後期課程）

計算錯誤について——ドイツ法を中心として——

報告者 栗原秀朗（九州大学大学院法学府博士後期課程）

軍事政権下弾圧被害者にとつての一九八七年「民主化」

——チエ・ジョンギル事件を中心に——

報告者 木村 貴（九州大学大学院法学府博士後期課程）

商事判例研究

報告者 原 弘明（九州大学大学院法学研究院助教）

司法への市民参加における心理的負担と充足感との関係

報告者 宇都義和（九州大学大学院法学府博士後期課程）

二〇〇九年度第二回 二〇〇九年十一月五日～一〇日

計算錯誤について（二）

——ドイツ法を中心として——

報告者 栗原秀朗（九州大学大学院法学府博士後期課程）

司法参加における「参加経験」の語られ方

——検察審査員経験者への聞き取り調査を手がかりに——

報告者 宇都義和（九州大学大学院法学府博士後期課程）

基本権としての『出訴の途』の保障

——ドイツ連邦共和国基本法一九条四項に関する基

本権の内容形成論からの検討——（仮）

報告者 平良小百合（九州大学大学院法学府博士後期課程）

著作権の性質に関する一考察

—— 国際私法的観点から ——

報告者 羽賀由利子（九州大学大学院法学府博士後期課程）

代理における禁反言の法理

—— 表見代理における本人帰責法理の再評価 ——

報告者 西内祐介（九州大学大学院法学府博士後期課程）

自由の任意性判断における迎合性チェック

—— 北方事件を素材として ——（仮）

報告者 永住幸輝（九州大学大学院法学府博士後期課程）